

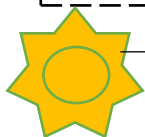


図書館だより

志木市立志木第二中学校図書館だより 2025年1月号

学校図書員 ひろみつ 弘光しのぶ

志木市立学校PTA連合会の60周年企画として、志木市内の学校に図書が寄贈されました。子どもたちの学習や真理の追究、知的探求心を満たすことのできる図書をということで、志木二中は53冊の本をいただきました。ありがとうございます。



寄贈図書には「志木市立学校PTA連合会60周年記念寄贈図書」と文字の入ったオレンジ色のシールが、志木二中バーコードのそばに貼ってあります。

PTA 連合会からの寄贈図書紹介

- 『日本の歴史 1～20(小学館学習漫画)』 『アレの正しい使い方図鑑』 『中学生からの絵本のトリセツ』
- 『未来の君を変える読書術』 『どうして死んじゃうんだろう?』 『苦しかったときの話をしようか 一』
- 『<弱いロボット>から考える 一人・社会・生きること一』 『歩く地図鎌倉・鎌倉散歩 2025』
- 『中学生から知りたいパレスチナのこと』 『きみのお金は誰のため』 『ネットでいじめられたら、どうすればいいの?』
- 『なぜ親はうるさいのか』 『100年無敵の勉強法』 『マイテーマの探し方』 『鎌倉遊覧』
- 『いろんな人に聞いてみたなんでその仕事をえらんだの?』 『踏切の世界』 『ヘンな信号機』
- 『全国スイッチバック&ループ線データブック』 『楽しまないともったいない』
- 『学力は「ごめんなさい」にあらわれる』 『バッタを倒すぜアフリカで』 『人生が変わるゲームのつくりかた』
- 『人生の扉をひらく鍵』 『5万年後に意外な結末』 『橋の上で』 『謎解きはディナーのあとで2』
- 『本好きの下剋上』 『赤ずきん、アラビアンナイトで死体と出会う。』 『小鳥とリムジン』
- 『放課後ミステリクラブ 1・2』 『夏井いつきと深める季節のことば辞典』 『モモ 絵本版』



皆さんはどのくらい読みましたか？



- *本 de くじ期間中の貸出し冊数 801冊 (貸出し日 7日間)
- *冬休みのための貸出し冊数 448冊 (貸出し日 5日間)

教育先進国といわれている北欧のスウェーデン全土の学校で、子どもの読解力が低下しているということで、印刷された本や静かに本を読む時間、手書きの練習に重点が置かれていると報道されました。その分、タブレットやパソコンを活用した学習時間を減らしているようです。さて、日本はどうして行くのでしょうか。

